

日本人と自然観

■ 西洋的自然観

* 自然は神様が作ったもの/神様の身代わりが人間

神様 → 人間 → 自然

人間中心、自然は物、自然は克服すべきもの

■ 日本的自然観

* **自然「じねん」**という考え方 : 自然を物と見ない / 「あるがまま」

* **自然の中に神様**

自然災害/自然の恵み/ 不可思議/生命力 → 自然の力に畏敬・尊敬

* **人と自然はつながって生きている**

生き物は関係しあっている/マタギ/ご先祖様 → 共生・生命に感謝・ご先祖様

西洋: 自然は物、日本: あるがままに見る

日本の神様について

- 神様は山にいらっしゃる存在
山(上)にいらっしゃるので上様→神様
- 色々な神様
日本人は色々な自然に畏れや尊敬を感じてきた → 自然に神が宿る
自然は災害をもたらすが実りをもたらす
山、海、川、田、巨石、動物、巨樹、太陽、月....
- 神社の社は屋代(家の代わり)/依代
山から下りてきて仮に住む場所/よってこられるところ(御幣や紙垂も)
- 山神様=サ神様(東北地方):しゃがむはサ拝むからきた/サのつく言葉
 - ・ 桜、五月、早苗、早乙女、酒、肴、早苗饗(さなぶり)、捧げる(サさげる)
 - ・ サ神様が依るサクラ(サ座・桜)の木の下でサケ(酒)やサカナ(肴)を
ササゲテ(捧げて)オサガリをいただいた(神楽は神へのもてなし)
 - ・ 地名:相模、佐渡、武蔵、堺、酒田、札幌、桜井、佐賀、三条、西条.....